

研修名	精神保健福祉実務者研修 「大人の発達障害の理解と支援」	
講師	小倉記念病院 緩和ケア・精神科部長 精神科医 三木 浩司 氏	
開催日時	平成 30 年 10 月 4 日（木）14：30～16：30	
開催場所	北九州市総合保健福祉センター（アシスト 21） 2 階講堂	
参加者数	102 名 （内訳：看護師、保健師、臨床心理士、養護教諭、精神保健福祉士、指導員、支援員、相談員など）	
研修の内容等	<p>精神保健福祉業務に携わっている方を対象に、支援に必要な最新の知識・技術・視点等について学び、相談支援技術の向上を図ることを目的に開催した。</p> <p>講義形式で、大人の発達障害の特性や二次障害、具体的な支援の方法などについて学ぶ機会となった。</p>	
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> • 発達障害の方がなぜ、そのような行動に出るのだろうと考える視点。つい行動自体に目がいってしまいがちですが、新たな視点からの気づきを頂けるよい機会となりました。 • 発達障害の人を包括的に理解するための視点やアプローチの方法がわかり、今後支援の場で実践していこうと思いました。 • 本を読むだけではわかりにくい内容を、実践の場で得た経験からお話いただき、とても参考になりました。 • 周りのサポートや環境次第で発達障害者の特性を生かすことができれば、その人らしく生きていくことができると感じました。 • 発達障害者の生きにくさに寄り添って支援していく気持ちが高まりました。 • 発達障害を「不便」「不器用」と考えるというのは、新しい視点だと感じました。『本人も困っている』という視点で考えることの大切さを感じました。 	